

この記事に関する  
ご意見・ご感想は

中出張所

(☎08512-4-0002) まで

# 中出張所新聞

令和7年11月7日発行



回覧

## 晴天に集う武良祭風流

### 晴天に神々舞う

10月19日(日)、島後三大祭の一つ「隠岐武良祭風流」が行われました。前後の日は荒天が続いたものの、この日だけは強風の中に青空が広がり、まさに“神がかり”の晴天となりました。

行列がそれぞれ出発し、太鼓の音が響く中、御旅所では神馬が駆け抜けて観客を沸かせました。両神が祭場で合流すると、神事が次々と奉納され、力強くも優雅な姿に多くの拍手が送られました。



慣例にならない祭場を周回する様子

近年、若い参加者は減少傾向にあるものの、地域の人々が力を合わせて祭りを支え続けています。年配の世代が中心となって祭りを進める姿には、地域の誇りと伝統を守ろうとする力強さが感じられました。次回の開催は2年後の令和9年。再び太陽と月が出会う日が待たれます。

若手は減るも、  
地域が守り継ぐ



祭場に集う日天子・月天子

# 十津川高生 隠岐訪問

## 中沼了三先生の縁を訪ねて



顕彰会の挨拶を聞く十津川生たち

10月23日、奈良県立十津川高等学校の生徒たちが修学旅行で本町を訪れました。訪問は今年で21年目。十津川高校の前身「文武館」を創設した中沼了三先生は中村出身で、その縁から両地を結ぶ交流が続いています。

午前中は顕彰碑を訪れ、中沼了三先生顕彰会の皆さんからの挨拶に耳を傾けました。その後、十津川高校の校歌斉唱で力強い歌声が海風に乗って響き、教育の原点を受け継ぐ思いが伝わりました。



サザエ獲り体験

午後は「さざえ村」に場所を移し、サザエやタコ獲り体験を楽しみました。その後、地元海産物やお肉などを中心としたバーベキューをして、笑顔あふれる時間を過ごしました。

生徒たちと島の人々をつなぐこの交流は、来年以降も続くことが期待されています。



ハロウィンイルミネーション  
(中出張所前)

ハロウインの夜に光が灯る

中出張所駐車場のデッドスペースを活用し、ハロウィンイルミネーションを実施いたしました。寒くなりかけている秋の夜長に、かぼちゃの明かりが温かく灯りました。

次回のクリスマスイルミネーションもぜひご期待ください。